

スポーツ栄養研究会「サポート部門」所属学生インタビュー！



高校生の皆さんこんにちは！

今回は、スポーツ栄養研究会のサポート部門に所属する2～4年生の先輩方にインタビューをしました🎤
スポーツ栄養学科を気になっている方へ大学生活をイメージする参考していただけたらと思います！



【①サポート部門に所属しようと思った理由を教えてください。】

4年生：アスリートのパフォーマンス向上に栄養面から関わりたい
と思い、実践的に学べる場であると感じサポート部門に所属しまし
た。

3年生：スポーツに真剣に取り組んでいる選手を対象に栄養学的サ
ポートを行うことは他大学の栄養学科ではなかなかないため、とて
も興味深かったからです。

2年生：高校生の頃から将来は、スポーツ選手を支えるスポーツ栄
養士になりたいと考えていました。大学入学後はスポーツ栄養研究
会のサポート部門に所属し、補食提供やセミナーを行ったり、選手
とコミュニケーションをとりながら栄養面で選手を支える活動をし
ています。将来の為に、選手のサポートに携わることで様々な経験
ができ、実践力を身につけることができるサポート部門に所属しま
した。



【②サポート活動と授業やアルバイト等の両立はどのように していますか？】

4年生：授業やアルバイトのスケジュールを考えながら、空きコマの時間など
に活動をしています。

3年生：私は家が遠く往復4時間以上かかるため、その時間のうちに授業の課題
や復習、サポート関係の資料の作成をするようにし、土日にアルバイトをする
ようにしています。

2年生：所属サポートにもよりますが、私が所属している硬式野球部サポート
グループでは週に1回ミーティングと補食提供があります。昼休みや空きコマ
などにメンバーと集まり活動しているため、授業に出られないなどの心配はな
く、しっかりと勉強に取り組むことができます。週に1回の活動のため、
サポート活動を優先しており、活動がない日などにアルバイトを入れています。
そのため、授業や課題、サポート活動、アルバイトと両立が上手くできていま
す。

【③サポート部門の魅力をアピールしてください！】

4年生：実際に選手と関わりながらサポート活動ができるので、教科書だけでは学べないことがたくさん経験できます。仲間と協力して活動していく中で、コミュニケーションや考える力も自然と身につくと感じています。

3年生：サポート部門は体育会系のような雰囲気ではなく、先輩後輩仲良く楽しい雰囲気です。また、サポート部門は栄養学を基本にスポーツ栄養学を学ぶ場です。基礎知識を学ぶセミナーなどもあるため、栄養に関する知識がない方でも活動しやすいと思います。

2年生：サポート活動では、補食提供やセミナー、リーフレット作成、大会帯同、体組成測定、お料理教室などを行います。調理技術や資料作成の力がつく以外にも、授業だけでは学ぶことができない実践力をたくさん身につけることができます。また、選手や監督、先生方、先輩・後輩など様々な人との交流関係を築くこともできます。補食提供では、選手に「美味しかったです」「ごちそうさまでした！」「ありがとうございます！」と言ってもらえた時は選手の支えになっていると実感し、とてもやりがいを感じています。

硬式野球部サポートグループに所属している
2.3.4年生の先輩方に協力していただきました！

名前（学年）

- ・ 出身
- ・ 競技歴

中野愛子さん（4年生）

- ・ 山形県天童市出身
- ・ 硬式テニス歴10年

吉田雅輝さん（3年生）

- ・ 福島県楢葉町出身
- ・ 中学：野球、高校：ラグビー

高橋悠さん（2年生）

- ・ 青森県青森市出身
- ・ 中学～高校：ソフトボール



【④最後に高校生へ向けてメッセージをお願いします！】



4年生：大学では、栄養について深く学べるだけではなく、実際に人を支える経験もできます。最初は不安なこともあるかもしれませんが、仲間と一緒に学びながら成長できる環境があります。興味があることには、ぜひ挑戦してみてください！

3年生：栄養学は身近な誰かを支えることのできる学問です。本学では、幅広い人を支える栄養学、病気で苦しむ人を支える臨床栄養学、スポーツを頑張る人を支えるスポーツ栄養学を学ぶことができ、様々な人を支える知識を学ぶことができます。誰かのためになりたいと考えている方は、ぜひ仙台大学にお越しください。

2年生：サポート活動は選手と一緒に自分も成長できる場だと思います。ぜひ私たちと一緒に選手を支える活動をしてみませんか！？お待ちしております！！



高校生の皆さん！！

スポーツ栄養に興味のある方、実践的な活動をしてみたいと思っている方はぜひスポーツ栄養学科へ！
お待ちしております！



#学科概要はこちらから
#バックナンバーはこちらから